

こんにちは日本共産党です

ハ千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ₩080-1239-8132 日本共産党 八千代市議団 ホームページ



https://jcp-yachiyo.jp

日本共産党八千代市議団メール: kyousan@jcp-yachiyo.jp

第638号 2024年6月17日 発 行 日本共産党 八千代市議会議員団 八千代市大和田新田 312-5

八千代市の学校給食問題 八千代市産のお米、なぜ八街市で炊飯するのか?

「子どもたちに地元のお米を美味しく食べてもらいたい」地元の農家さんは言います。

八千代市の学校給食は、100%八千代市産のお米を使用しています。

しかし八千代市産のお米が、なぜか八街市で炊かれており、お米を炊いてから給食の時間までに何時間もかかっていることに日本共産党は20年前から疑問を持ち、議会等で指摘・追及してきました。

要因は「千葉県学校給食会」

日本共産党は6月定例議会の一般質問で、ハ千代市が米飯の提供を「千葉県学校給食会」へ委託していることに要因があることを明らかにしました。

給食は調理後2時間以内に食することになっています。(国は衛生面などから加熱調理後2時間以内に 喫食することが望ましいとしている。)しかし、ハ千代市のお米には、この定義が適用されていません。

八千代市産米のお米は八街市で炊いてから各学校に配送されますが、配送などに要する費用は大変なものになることから、日本共産党は以前から「千葉県学校給食会」への支出の詳細を明らかにするよう教育委員会に求めてきましたが解答はありませんでした。

さらに、今議会でも教育長は「生産から精米、炊飯に係る費用に加え、人件費、輸送費、光熱水費等、詳細に分けられた費用の内訳を得ることはできなかった」と答えました。

「千葉県学校給食会」への委託で保護者負担が倍以上!?

学校給食法の第11条には給食費について、「賄い材料費は保護者負担」としています。

裏面の図「小・中学校の給食(米飯)提供における保護者負担について」のとおり、(市内の)給食センターの場合、保護者負担は材料費のみですが、学校給食会へ委託した場合、全ての費用が保護者負担であり、お米の購入から学校への輸送までの費用全てが保護者負担になっていることがわかりました。

(6月12日担当課に確認)

- ●給食センターが使うお米の価格・・・・・381.8円/kg (過去3年間平均)
- ●学校給食会へ委託したお米の価格・・・ 880.0円/kg (過去3年間平均)

そもそも、市が負担すべきものが学校給食会へ委託することで、保護者負担になることは、絶対に許せるものではありません。また、千葉県学校給食会が指定した工場で炊かれていたことで、調理後に何時間も経ってから子どもたちに提供されていることも問題です。

大型給食センター化を押し進める理由にも

日本共産党は、学校給食の提供について、様々な面で優れているとされている自校方式を求めていましたが、市は「自校方式よりもセンター方式の方が安い」という理由で大型の給食センター化を押し進めてきました。

今回の追及によって、千葉県学校給食会へ委託することで保護者負担が増加し、同時に市の負担が少なくなることがわかりました。このようなことから「自校方式よりもセンター方式の方が安い」という市の答弁につながったのではないでしょうか。

また、これまで「なぜセンターで米が炊けないのか」との質問に市(給食センター)からは「おかずを I 品減らせば、ご飯は炊けます」と言われたことがありました。

給食を作るレーンを | 本減らすことで、給食センター建設費用の削減になるわけですからひどい話です。 日本共産党は市長に対し、不可解な請求(詳細な内訳がない請求)をする学校給食会との契約は取り やめるべきと強く求め、今後も追及していきます。

●小・中学校の給食(米飯)提供における保護者負担について

学校給食法第11条では「賄い材料費は保護者負担」と記されているとおり、小・中学校へ給食(米飯)を提供する際、 保護者は賄い材料費のみを負担します。

しかし、学校給食会へ委託した場合には、全ての費用を保護者が負担しなくてはなりません。



